

令和元年度 デジタル道路地図基礎資料作成要領

共通(直轄、高速道路(株)、道路公社、都道府県)

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省 国土地理院 関東地方測量部

<目 次>

1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的	2
2. 作成・提供いただく資料	3
(1) 作成いただく資料	3
(2) 提供いただく資料	4
(3) 機関別提出資料一覧	5
3. 高速自動車国道（直轄高速道路を含む）、都市高速道路、一般有料道路、一般国道、主要 地方道、一般都道府県道 項目別提出資料一覧	6
例：更新データ一覧表（様式1）	8
例：位置図	11
例：平面図 CAD データ（工事用等）	13
例：中心線座標リスト	14
例：縦断図 CAD データ	15
例：標準横断面 CAD データ	16
例：距離標入り平面図（距離標設置用工事図又は台帳付図等）	17
例：現・旧・新道区分図	18
例：道路冠水想定箇所リスト	19
例：異常気象時通行規制区間	21
例：緊急輸送道路	22
例：路線データ（様式2）	23
4. 参考・・・標準的な年間スケジュール	24

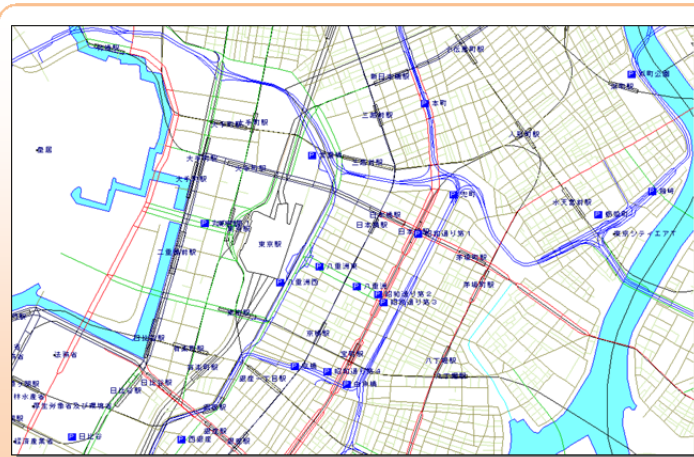
1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的

国土交通省の各地方整備局、北海道開発局、内閣府の沖縄総合事務局は、道路情報の最新の状況をデジタルデータとして把握し活用するため、毎年、全国のデジタル道路地図データベース(DRM データベース)を整備・更新しています。この DRM データベースを用いて、VICS、特車オンライン申請システム、道路交通センサス、交通事故分析など、様々な道路管理におけるシステムが運用されるとともにカーナビ用の基盤地図としても活用されています。

一方、国土地理院では、国土管理、地域防災の基本となる「電子国土基本図」を整備しています。電子国土基本図は、国や自治体の管内図をはじめ、民間が作成する様々な地図の更新などにも利用されており、特に道路等の情報については高精度かつ最新の情報として整備を進めているところです。

これらの DRM データベースや電子国土基本図は、最新の道路更新情報に基づいて着実な更新が必要です。そのため、国土交通省地方整備局等と国土交通省国土地理院地方測量部が合同で毎年定期的に「デジタル道路地図基礎資料の作成」を主要道路の管理者に依頼するものです。それぞれの道路管理者が持っている情報で、近く新規供用される道路の情報や管理者・施設等の変更情報を各地図更新用の基礎資料として所定の様式にまとめるとともに、当該箇所の図面データ等の提供を依頼するものです。

精度の高い DRM データベースと国土の基本図が整備され、着実に更新されるためには、「デジタル道路地図基礎資料」の質の高さに負うところが多大であり、関係道路管理者のご協力が必要不可欠です。

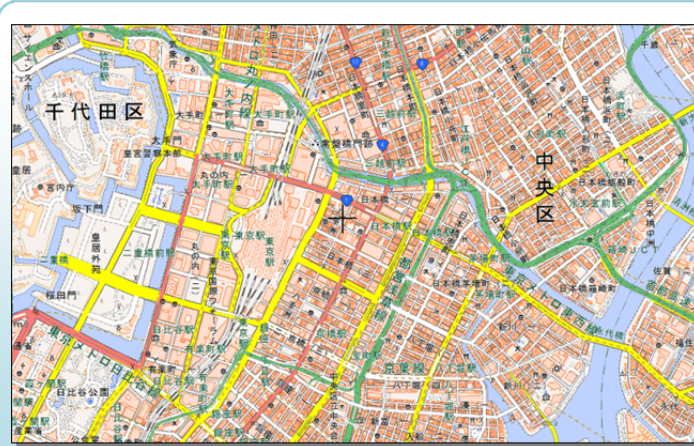


DRMデータベース

DRMデータベースの特徴

DRMデータベースは、道路のネットワークを表す地図のデータベースで、道路網を形成するノードとリンクには、官民が情報を共有するための固有番号(ID)が付与されています。

また、路線名、橋梁・トンネル、踏切等の道路に関する構造物や道路交通センサスの統計情報など、道路に関する情報を保有しています。



電子国土基本図

電子国土基本図の特徴

電子国土基本図は、国土地理院が刊行している1/25,000地形図の電子地図版に相当するもので、道路形状(都市計画区域等では1/2,500精度)のほか、等高線による地形や建物、土地利用の様子、地名などが詳細に表示されています。

インターネット上で、様々な地理的情報を重ねて表示することができ、地図を背景にした情報共有が可能です。

2. 作成・提供いただく資料

(1) 作成いただく資料

①一覧表・現旧新道区分図

■様式1「更新データ一覧表」(8p、9p参照)

参照用提供資料	前年度の道路管理者提供資料によるデータ化の状況及び国の補助対象道路を整理したリスト
対象道路	国道、都道府県道、高速道路、都市高速道路の全て
供用予定時期	令和元年度～令和3年度末
作業	<p>①道路の更新箇所について 新規供用、拡幅・中央分離帯設置(上下分離)、線形改良、交差点改良、管理変更(過去3年間の管理変更・廃道など)等を記載する。</p> <p>②道路施設等について 橋梁等の対象施設の名称(漢字等の表記と読み仮名)を、①から改行して記載する。</p> <p>・9ページ様式1の作成ポイント及び7ページの対象事象を参照してください。</p>

■様式2「路線データ」(23p参照)

参照用提供資料	前年度の路線に関する情報のリスト
対象道路	国道、都道府県道、政令市道、高速道路、都市高速道路の全て
更新予定時期	令和元年度末
作業	令和元年度内の変更予定箇所を修正するとともに、追加路線の情報を記載する。

■現・旧・新道区分図(18p参照)

参照用提供資料	前年度データ化された現道・旧道・新道区分を示した箇所図
対象道路	直轄国道
供用予定時期	令和元年度内
作業	令和元年度内の変更予定箇所を修正するとともに、新規設定箇所を追加する。

②位置図 ※管内図・パンフレット等、既存の資料で位置が示された資料があれば作成不要

■位置図（11p、12p 参照）・道路冠水想定箇所図（20p 参照）

対 象	様式 1、様式 2 に情報を追加・修正し、工事用図面を提供する箇所及び、移管する箇所
作 業	道路冠水想定箇所図がない場合に、管内図又は地理院地図等に位置を示し、 <u>道路冠水想定箇所リストと対照する番号を記入した位置図を作成する。</u>

(2) 提供いただく資料

■工事用図面等（平面図/縦断面図/標準横断面図/道路中心線座標リスト）（13～16p 参照）

希望する資料の内容	道路の形状、既存の道路との接続関係が分かる工事用平面図、及び平面図に対応する縦断面図、道路中心線の座標（測地座標又は平面直角座標）リスト、標準横断面図
対 象	様式 1、様式 2 に追加した新規道路及び道路改良箇所
ファイル形式	CAD 形式⇒SXF（拡張子が P21 又は SFC）、または AutoCAD（拡張子が DXF 又は DWG）

■距離標入り平面図（17p 参照）

希望する資料の内容	平面図（縮尺 1/500～1/2500）に距離標の位置が明示されたもの。
対 象	道路の距離標設置路線で令和元年度末までに変更又は追加が見込まれる路線
ファイル形式	PDF 形式（拡張子が PDF）、または CAD 形式（※ファイル形式は工事用図面に準ずる。）

■道路冠水想定箇所（19p、20p 参照）

希望する資料の内容	道路冠水想定箇所リスト（道路冠水想定箇所図、位置図（19p 参照））
対 象	道路冠水想定箇所の全て
ファイル形式	エクセル形式（拡張子が xls または xlsx）

※各都道府県・政令市から整備局又は国道事務所に資料提出している場合は、提出不要です。

■管内図 2 部

対 象	最新の管内図
ファイル形式	紙媒体（2 部）、または PDF 形式（拡張子が PDF）

(3) 機関別提出資料一覧

提出資料	関係機関					作成資料
	地方整備局 国道事務所	高速・都市高 速道路会社	都道府県 政令指定市	都道府県 土木事務所	市区町村 農林・港湾	
(1) 更新箇所一覧表						
①様式1更新データ	○	○	○	○	○	例1
②様式2路線データ	○	○	○	—	—	例20
(2) 位置図※						
①道路の新設	○	○	○	○	○	例2
②道路の改良	○	○	○	○	○	例3
③施設の新設・廃止	○	○	○	○	○	例4
④施設の移設	○	○	○	○	○	例5
⑤施設名称の変更	○	○	○	○	○	例6
⑥区間情報の変更	○	○	○	○	○	例7
⑦公共施設の変更	○	○	○	○	○	例8
(3) 工事用図面等※						
①平面図CADデータ	○	○	○	○	○	例9
②中心線座標リスト	○	○	○	○	○	例10
③縦断面CADデータ	○	○	○	○	○	例11
④標準横断面CADデータ	○	○	○	○	○	例12
(4) 距離標入り平面図	○	—	—	—	—	例13
(5) 現・旧・新道区分図	○	—	—	—	—	例14
(6) 道路冠水想定箇所						
①箇所リスト	○	—	○	—	—	例15
②想定箇所図・位置図	○	—	○	—	—	例16、17
(7) 参考資料						
①管内図	○	○	○	○	○	
②事業概要	○	○	○	○	○	
③事業パンフレット等	○	○	○	○	○	

※ 位置図の作成について

1枚の位置図に、複数の箇所を記載して下さい。

既存のパンフレットや事業概要等で位置がわかる場合は、位置図を作成する必要ありません。

【工事用図面】

道路の新設・改良箇所は、①平面図、②縦断面図、③標準横断面、④道路の中心線座標を必ず提出する。

3. 【様式1】 (※1) 高速自動車国道（直轄高速道路を含む）、都市高速道路、一般有料道路、一般国道、主要地方道、一般都道府県道、政令指定市の一般市道（2車線以上）

【様式1】 (※2) 5.5m以上の幹線的な政令指定市以外の市町村道、農道、林道、臨港道路

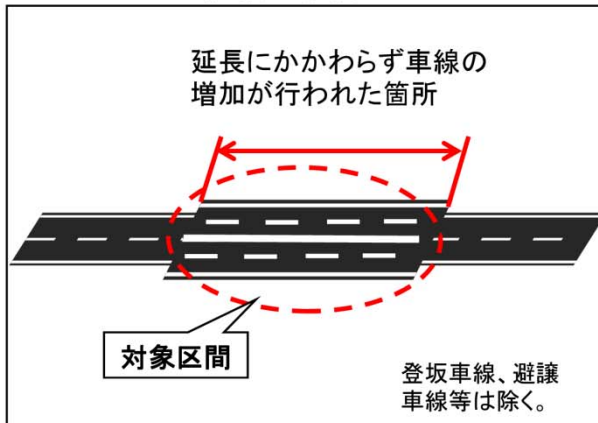
【様式1】 (※3) 3.0m以上 5.5m未満の自動車通行可能な道路で政令指定市を含む市町村道、農道、林道、臨港道路
項目別提出資料一覧

項目(更新の種類)		道路の新設・改良	道路構造物等の新設廃止・移設・名称変更等	管理変更	名称設定、事務所位置等の新設・変更	路線データ変更	距離標	現・旧・新道の区分図
資料対象		<ul style="list-style-type: none"> 新規供用(道路の新設、パイパス) 拡幅等(車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)道路中心線の移動が該当し、幅員変更のみは非該当) 線形改良(局部改良、橋梁架替トンネル等による道路中心線の移動) 交差点の改良(交差点立体化、ラウンドアバウト、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去が該当し、右左折車線の設置のみは非該当) 	<ul style="list-style-type: none"> SA・PA、IC・JCT、スマートIC 橋・高架(延長15m以上)、トンネル 踏切、立体交差、横断歩道橋 料金所、SA・PAの駐車場 道路冠水想定箇所 ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター 	<ul style="list-style-type: none"> 道路新設に伴う旧道移管 道路管理者、道路種別、路線番号等の変更など 有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更、ICランプ、交差点導流路など 道路構造から決まる一方通行の変更。 道路の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点名称、道路通称名(直轄国道パイパス名など)等が該当 出張所等(地方整備局、役場地等)の新設、移転、名称変更 	<ul style="list-style-type: none"> 路線名称の変更、始点終点位置の変更 	<ul style="list-style-type: none"> 距離標の新設、増設、廃止、変更 	<ul style="list-style-type: none"> 現旧新道の区分図の確認、修正
供用・実施予定時期	様式1(※1)	令和元～令和3年度	令和元～令和3年度	平成29～令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度
	様式1(※2)	令和元年度	令和元年度	令和元年度				
	様式1(※3)	平成30年度	平成30年度	平成30年度				
提出資料と凡例	箇所一覧表		様式1(例1)			様式2(例20)		
	位置図		(例2～8)					
	現・旧・新道区分図							(例14)
	CADデータ	平面図	(例9)	(例9)				(例13)距離入り
		縦断面図	(例11)					
		標準横断面図	(例12)					
	中心線座標リスト		(例10)					
	道路冠水想定箇所			(例11～17)				
	異常気象時通行規制		(例18)					
緊急輸送道路		(例19)						
						直轄、高速、公社、都道府県本庁、政令指定市のみ	原則、直轄のみ	直轄のみ

■ 対象とする事象

分類	事象
新規供用	道路の新設、バイパスの新設等
拡幅等	車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)、道路中心線の移動。幅員変更のみ、登坂車線の設置等は除く。
線形改良	局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動

拡幅の事例

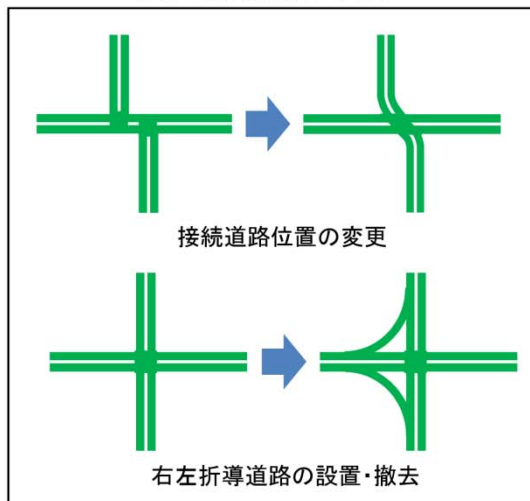


線形改良の事例

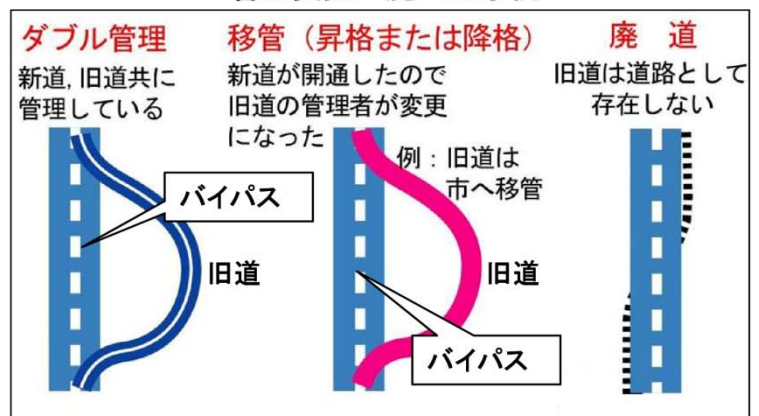


分類	事象
交差点改良	交差点立体化、ラウンドアバウト(環状交差点)、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去。右左折車線設置のみは除く。
管理変更・廃止等	道路管理者・道路種別・路線番号・名称変更など
規制等変更	有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更 ICランプ、交差点導流路など道路構造から決まる一方通行の変更。 公安委員会決定等の一方通行は対象外。

交差点改良の事例



管理変更・廃止の事例



例：更新データ一覧表(様式1)

例1

様式1

記入例は架空のもので、
例示した位置図とこの表の記入例は対応しています。

確認済みの場合は「済」と記入

月が未定の場合は年度のみで可

高速道路は、IC等名を記入する

標準幅員を記入

記入者、電話番号等を記入

作成日 令和元(2019)年01月01日
 事務所 〇〇〇〇〇〇
 記入者 〇〇〇〇〇〇
 電話番号 〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇
 メールアドレス 〇〇〇〇〇@xxx.co.jp

更新データ一覧表										標準幅員		車道幅員		車道幅員		備考		備考		備考			
位置図	平面図	縦断面	横断面	中心線位置(別)	確認	管理番号	位置図との対応番号	道路種別	路線番号	路線名等(バイパス名)	更新内容	供用予定年月	区間	延長(m)	標準幅員(m)	車道幅員(上下階合計)	データ化反映結果	備考(詳細は理由等)	DRM-DB取得基準合致判断	出典又は社会資本総合登録計画番号	道路の長尺維持管理可能な場合は〇、管理不可の場合は×を記入ください		
H28線	H28線	H28線	H28線	H28線	済	13089030300		1:高速自動車道		新設供用		2012	△△市△△区△△	3,000	10.0	2						○	
H28線	H28線	H28線	H28線	H28線	済	13089030301			*	●トンネル(●とんねる)				600		2	データ化済	一部通行可能				○	
					済	13089030500			*	□□□(□□□□)		30年度				2						○	
					済	14089030700		2:一般国道	***	国道**号線	新設供用	30.04.21	〇〇市〇〇区〇〇	3,000	6.0	2	データ化済	ダブル管理				×	
					済	14089030900		3:一般国道	***	国道**号線 第〇工区	新設供用	30年度(1年度)	〇〇市〇〇区〇〇	2,500	6.0	2	データ化済	一般有料					○
					済	14089030901			*	〇〇橋(〇〇がし)				900		2	未実施	照会済①参照				○	
					済	14089031000		2:都市高速道路	***	△△/△△バス	新設供用	30.11	△△市△△区△△T B ~ □□市△△T B	1,600	10.0	2	データ化済					×	
					済	15089041000		3:一般国道	***	国道**号線	供用済			200		2	データ化済						○
					済	15089041001			*	〇〇倉庫機新設		30.11				2	データ化済					○	
					済	15089041002		4:都市高速道路	***	〇〇倉庫機新設		30.05				2	データ化済						○
					済	14089040100		5:都市高速道路	***	△△田道	供用済	30.03	〇〇市〇〇区〇〇	1,000	6.0	2	データ化済	旧道が移管、廃止されない場合は「ダブル管理」と記入					○
					済	15089030400		6:一般国道	***	〇〇停車場	新設供用	31.03	〇〇市〇〇区〇〇	2,000		2	データ化済					×	
					済	15089011100		2:都市高速道路	*	□□道路	料金所新設	30.03.31		1,600		2	データ化済						○
【以下、社会資本総合登録計画及びホームページより該当する可能性のあるものを抜粋しました。上記記載の箇所との重複及びDB更新に該当する事業が各々ご確認のうえ、該当する場合は資料一式のご提供をお願いします】																							
					済			5:主要地方道(指定付)	***	●●道路	改良改良(××交差点)	H30	▲▲△△-●●●●	250		2			該当しない(工事内容)				○
					済			5:主要地方道(指定付)	***	▲▲道路	新設供用	H30	▲▲△△-●●●●	2,500	10	4			該当する(一部区間)				○
					済			5:主要地方道(指定付)	***	●●道路	拡張改良	H30.03	◆◆◆-〇〇〇〇	50	6	2			該当しない(33年度以降予定)				×
					済			5:主要地方道(指定付)	***	〇〇停車場	新設供用	31.03	◆◆◆-〇〇〇〇	1,000	6	2		15089030400	他の記載箇所と重複				○
					済			6:一般国道	**	〇〇△△線	4車線拡幅	30.04	◆◆◆-〇〇〇〇	500	12	4			該当する				○
以下に上記以外で別の事業で「令和元~3年度までに完成予定」と見込まれる箇所などがあれば追記して下さい。※移管等もきん下さい。																							
					済			6:一般国道	**	赤道〇〇線	道路改良	32.03	▲▲〇〇-▲▲〇〇	400		2							×
					済			6:一般国道	**	〇〇市〇〇区〇〇	名称変更	31.03		300		2							○
					済			6:一般国道	**	〇〇市〇〇区〇〇	施設位置変更、車道幅員(〇〇車線)	30.12	◆◆市〇〇区△△T B			2							○

供用予定の変更が多数あり、必ずご確認願います

上下線が分離されているときは車道幅員の合計値を記入する

行は必要に応じて追加して下さい

更新に関する詳細は各添付ポイント及び「平成30年度デジタル道路地図更新資料作成要領」をご確認ください

様式 1 の作成ポイント

■ 供用予定や工事図面に大幅な変更があった場合も資料提供により変更可能です。

■ 対象箇所が無い場合は空欄のままの様式 1 を送付下さい。

(1) 「資料提供確認」欄 (B~F 列)

① 未受領と記載されている箇所は、該当の資料を受領していませんのでご提供下さい。

② ピンクに塗られた箇所及び斜線の箇所については、資料を受領済等ですので不要です。

なお、必要図面等（本資料の最後に掲載）の添付の可否に係わらず、プルダウンから必要事項を選択して下さい。

(2) 「確認」欄 (G 列)

各行の記載内容を確認し、内容が異なる箇所は赤字で訂正して下さい。確認が済みましたら必ず「済」と記入して下さい。

(3) 「位置図との対象番号」欄 (I 列)

図面等を添付する必要がある場合は、この欄に通し番号を記入し、その番号を添付ファイル名にも付けて下さい。

(4) 「道路種別」欄 (J 列)

下記から当てはまる道路種別をプルダウンから選択して下さい。

1：高速自動車国道	2：都市高速道路	3：一般国道
4：主要地方道（都道府県道）	5：主要地方道（指定市道）	6：一般都道府県道
7：政令市の一般市道	9：政令市以外の一般市町村道	
A：臨港道路	B：農道	C：林道
D：道路運送法の道路	E：私道	F：その他

一般有料道路については、備考欄に「一般有料」と記入して下さい。

(5) 「更新内容等」欄 (N 列)

① 道路の更新箇所について

新規供用、拡幅・中央分離帯設置（上下分離）、線形改良、交差点改良、管理変更（過去3年間の管理変更・廃道など）等を記載して下さい。

② 道路施設等について

橋梁等の対象施設の名称（漢字等の表記と読み仮名）を、①から改行して記載して下さい。

【該当性の判断基準】

令和3年度までに供用予定見込（工区の一部で供用予定のものも該当します）

（都道府県・政令市の農道・林道・臨港道路等は令和元年度まで）

・ 新規供用（道路の新設、バイパス）、拡幅等（車線数の増加・減少、中央分離帯設置（上下線分離）、道路中心線の移動が該当し、幅員変更のみは該当しません）

線形改良（局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動）、交差点の改良（交差点立体化、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去が該当し、右左折車線の設置のみは該当しません）

・ SA・PA、IC・JCT、スマートIC、橋・高架（延長15m以上）、トンネル、踏切、立体交差、横断歩道橋、料金所、SA・PA・駐車場、道路冠水想定箇所、ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター、交差点名称、道路通称名（直轄国道バイパス名など）等が該当します。

(6) 「データ化反映結果」欄 (T 列)

① 「データ化済」と書いてある行について

デジタル道路地図として既にデータ化済みです。記載データに変更や修正箇所がある場合、赤字で修正して下さい。また、線形変更等により大幅な変更が生じた場合はその図面等をご提供下さい。

② 「未実施」と書いてある行について

右隣の「備考欄」や「資料提供確認欄」等を確認し、照会票を参照のうえご回答下さい。

(7) A 列の「社会資本欄」の行に記載のある箇所について

以下に従って、「DRM 該当判断結果」欄 (V 列) にプルダウンを用いて必要事項を記入して下さい。

① 「過年度受領」欄等に既に記載されているデータと重複している場合

「他の記載箇所と重複」を選択し、「備考」欄 (U 列) に、既に記載されているデータの「管理番号」 (H 列) を記入して下さい。

② 「該当する」「該当する(一部区間)」の場合

当該行の記載内容を適宜赤字で修正・追記したうえで、必要図面もご提供下さい。

③ 「該当しない」場合

工事内容が該当しない場合は「該当しない(工事内容)」を、供用予定が令和4年度以降のため該当しない場合は「該当しない(R4年度供用予定)」等年度に合わせ選択して下さい。

(8) A 列の「新規追加」欄の箇所について

「令和3年度までに完成」と見込まれる箇所で、A 列の過年度受領済欄及び社会資本欄に記載されていないものがあれば、「新規追加」欄へ追記のうえ、必要図面もご提供下さい。(事業工区の一部区間等暫定的な供用も含む)

(9) 「民間提供可否」欄 (X 列)

民間への資料提供が「可」の場合は「○」、「否」の場合は「×」を記入してください。

①提供先となる民間・・DRM協会との契約により DRMDB を使用している民間企業主にはトヨタ自動車(トヨタマップマスター)、パイオニア(インクリメントP)、ゼンリン、昭文社、ダイナミックマップ基盤などデジタル道路地図を作成している民間企業)

②提供する資料・・・位置図、平面図、縦断図、標準断面図、道路中心線座標リスト

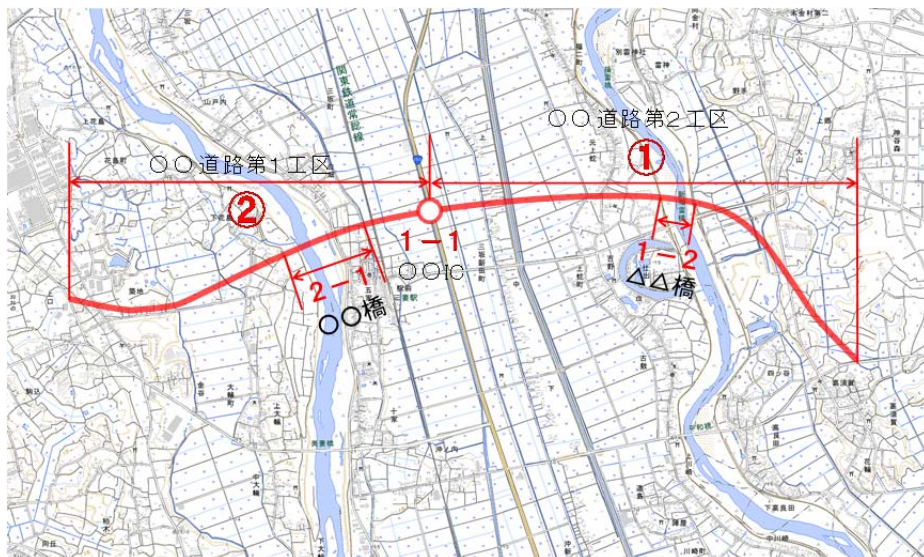
③民間での資料の取り扱いなど

- ・地図作成のみに使用(DRM協会との契約で決められているデータベースの使用目的による)
- ・資料の機密保持(DRM協会との契約で決められている機密の保持(第三者への漏洩禁止)による)
- ・完成時との相違(特に計画・工事段階の資料などで、完成時と異なることが想定されるような場合には、提供を受けた企業の責任で、その差異を最終確認)

例：位置図

- 位置図は地形図や管内図を使用して1/25,000～50,000程度の縮尺で作成する。
- パンフレット等の地図に位置が明記してあれば、位置図の作成は不要。

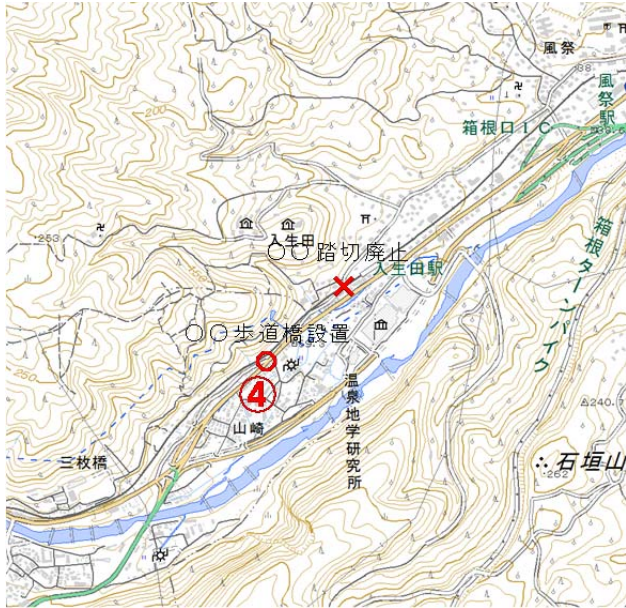
例2 ■道路・バイパスの新設、橋・トンネルの新設、IC・JCTの追加



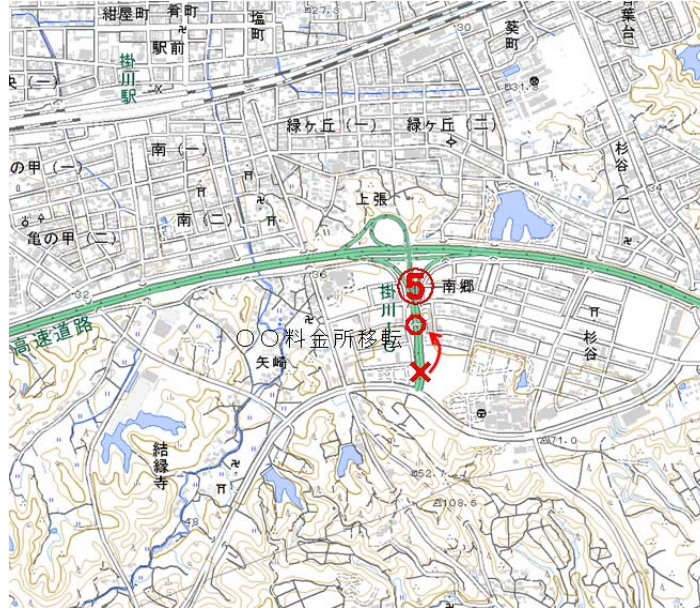
例3 ■道路の線形改良・拡幅、交差点の改良 距離標の新設・増設、廃止、変更



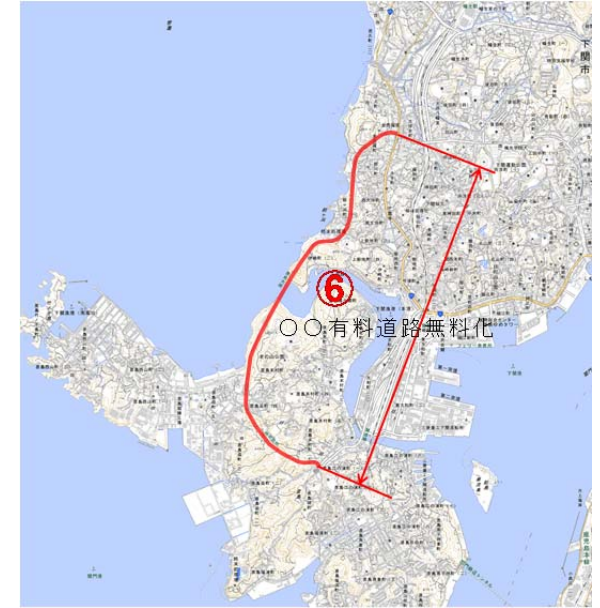
例4 ■踏切、料金所、SA・PA、横断歩道橋
スノーシェルタ等の新設・廃止



例5 ■橋・高架、トンネル、踏切、料金所、SA・PA
横断歩道橋、スノーシェルタ等の移設



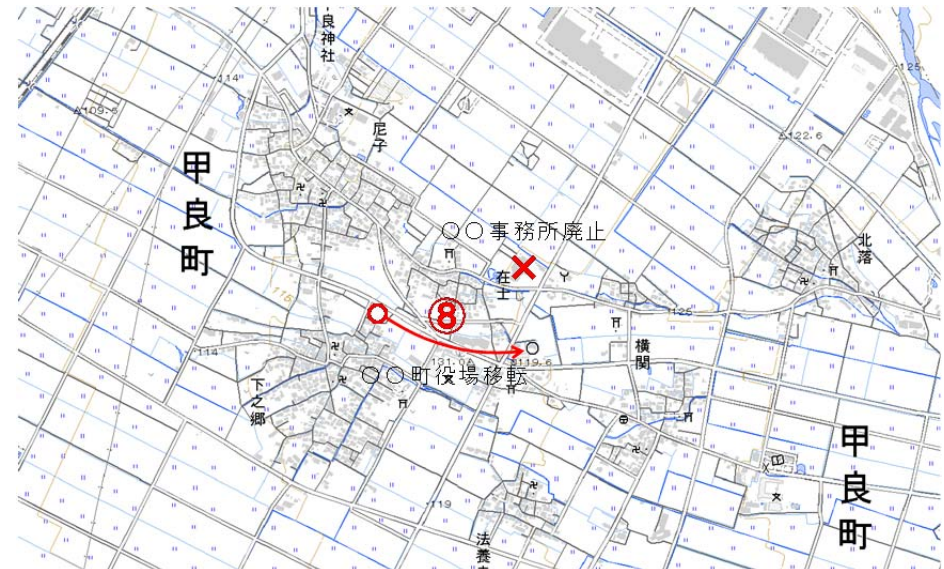
例7 ■移管、有料道路の無料化、道路の廃止、
一方通行の変更、自専道の変更



例6 ■道路、橋・高架、トンネル、踏切、交差点、SA・PA 等の名称変更



例8 ■公共施設(国・都道府県の機関、市町村庁舎等)の新設・移転・
廃止、名称変更



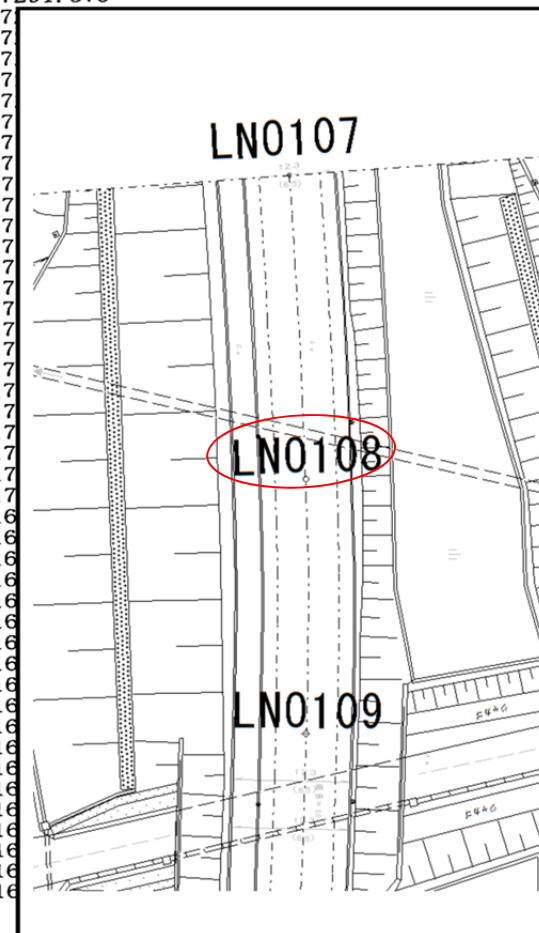
例：中心線座標リスト

例10

現場名：

<<座標LIST>> (世界測地系)

点名	X座標	Y座標	点名	X座標	Y座標
LNO107	-68864.884	-18386.413	LNO117+20	-69189.263	-17426.839
LNO107+20	-68866.316	-18365.234	LNO117+40	-69194.638	-17407.427
LNO107+40	-68880.963	-18350.466	LNO117+60	-69200.034	-17387.943
LNO107+60	-68888.996	-18332.511	LNO117+80	-69205.453	-17368.375
LNO107+80	-68897.027	-18314.558	LNO118	-69210.902	-17348.699
LNO108	-68905.059	-18296.606	LNO118+20	-69218.006	-17329.499
LNO108+20	-68913.091	-18278.651	LNO118+40	-69226.322	-17310.709
LNO108+40	-68921.126	-18260.690	LNO118+60	-69234.657	-17291.873
LNO108+60	-68929.166	-18242.720	LNO118+80	-69243.029	-17
LNO108+80	-68937.212	-18224.736	LNO119	-69251.442	-17
LNO109	-68945.264	-18206.736	LNO119+20	-69259.922	-17
LNO109+20	-68953.340	-18188.684	LNO119+40	-69271.791	-17
LNO109+40	-68961.429	-18170.603	LNO119+60	-69284.670	-17
LNO109+60	-68969.526	-18152.502	LNO119+80	-69297.517	-17
LNO109+80	-68977.633	-18134.376	LNO120	-69310.373	-17
LNO110	-68985.752	-18116.225	LNO120+20	-69323.278	-17
LNO110+20	-68993.884	-18098.046	LNO120+40	-69336.276	-17
LNO110+40	-69002.029	-18079.836	LNO120+60	-69352.334	-17
LNO110+60	-69010.188	-18061.594	LNO120+80	-69365.022	-17
LNO110+80	-69018.364	-18043.315	LNO121	-69390.972	-17
LNO111	-69024.200	-18024.311	LNO121+20	-69408.978	-17
LNO111+20	-69029.517	-18005.157	LNO121+40	-69426.828	-17
LNO111+40	-69034.837	-17985.997	LNO121+60	-69444.579	-17
LNO111+60	-69040.187	-17966.727	LNO121+80	-69462.287	-17
LNO111+80	-69045.529	-17947.452	LNO122	-69480.010	-17
LNO112	-69050.732	-17928.141	LNO122+20	-69497.804	-17
LNO112+20	-69055.936	-17908.829	LNO122+40	-69515.725	-17
LNO112+40	-69061.140	-17889.518	LNO122+60	-69533.807	-17
LNO112+60	-69066.343	-17870.207	LNO122+80	-69552.088	-17
LNO112+80	-69071.547	-17850.895	LNO123	-69571.523	-17
LNO113	-69076.751	-17831.584	LNO123+20	-69591.867	-17
LNO113+20	-69082.106	-17812.313	LNO123+40	-69612.086	-17
LNO113+40	-69087.531	-17793.063	LNO123+60	-69632.221	-16
LNO113+60	-69092.956	-17773.814	LNO123+80	-69652.306	-16
LNO113+80	-69098.382	-17754.562	LNO124	-69672.364	-16
LNO114	-69103.807	-17735.312	LNO124+20	-69692.416	-16
LNO114+20	-69109.233	-17716.061	LNO124+60	-69732.536	-16
LNO114+40	-69114.658	-17696.811	LNO124+80	-69752.719	-16
LNO114+60	-69120.020	-17677.543	LNO125	-69772.936	-16
LNO114+80	-69125.332	-17658.262	LNO125+20	-69793.102	-16
LNO115	-69130.645	-17638.980	LNO125+40	-69813.224	-16
LNO115+20	-69135.958	-17619.698	LNO125+60	-69833.304	-16
LNO115+40	-69141.270	-17600.417	LNO125+80	-69853.347	-16
LNO115+60	-69146.583	-17581.135	LNO126	-69873.373	-16
LNO115+80	-69151.908	-17561.857	LNO126+20	-69893.396	-16
LNO116	-69157.240	-17542.581	LNO126+40	-69913.420	-16
LNO116+20	-69162.571	-17523.305	LNO126+60	-69933.445	-16
LNO116+40	-69167.902	-17504.028	LNO126+80	-69953.471	-16
LNO116+60	-69173.233	-17484.752	LNO127	-69973.498	-16
LNO116+80	-69178.564	-17465.476	LNO127+20	-69993.525	-16
LNO117	-69170.127	-17442.382	LNO127+40	-70013.554	-16

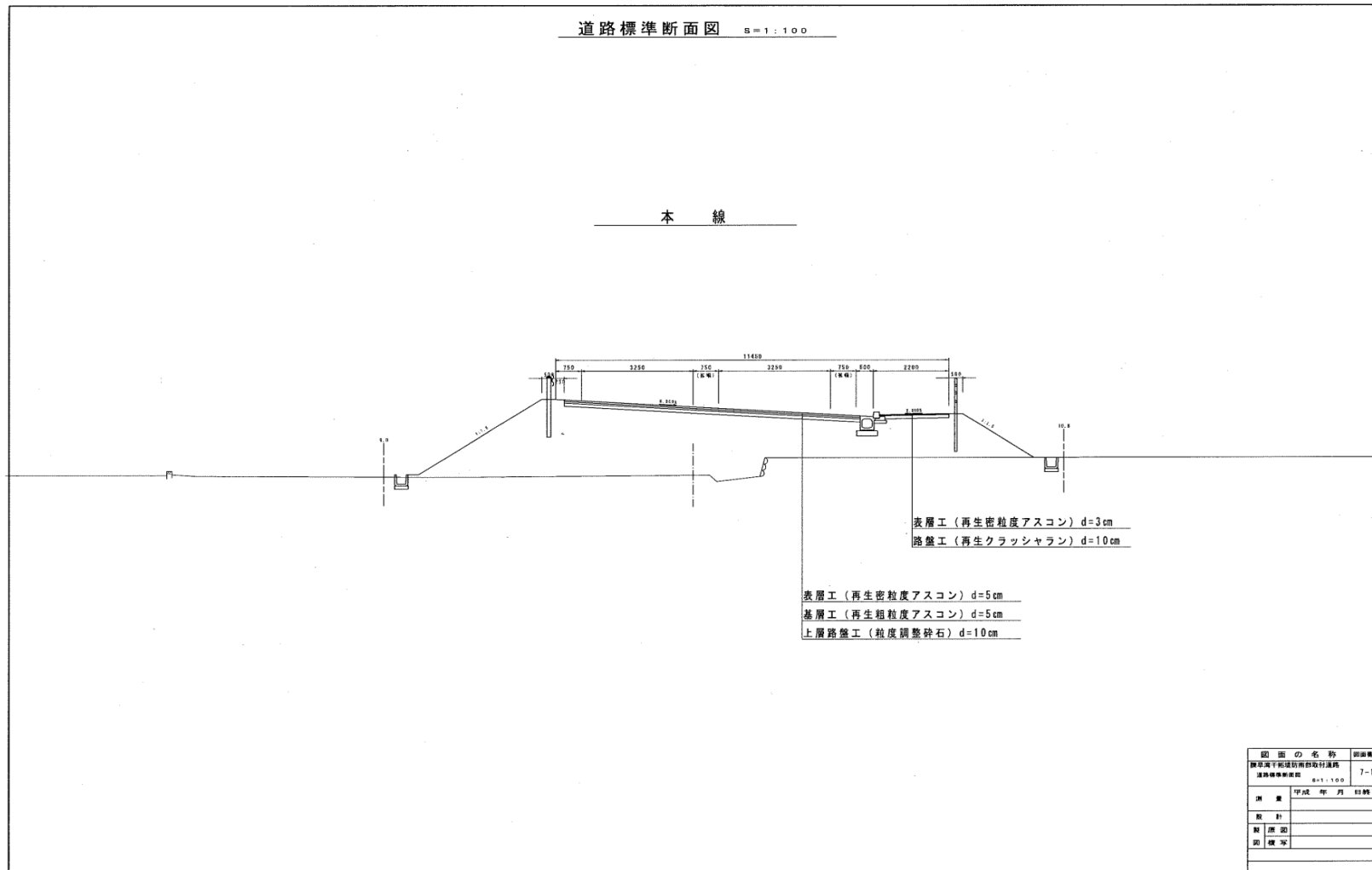


※リストの最初のページに「日本測地系」もしくは「世界測地系」の区分を記載する。

例：標準横断面 CAD データ

CAD 図面データを提出する。

例 1 2

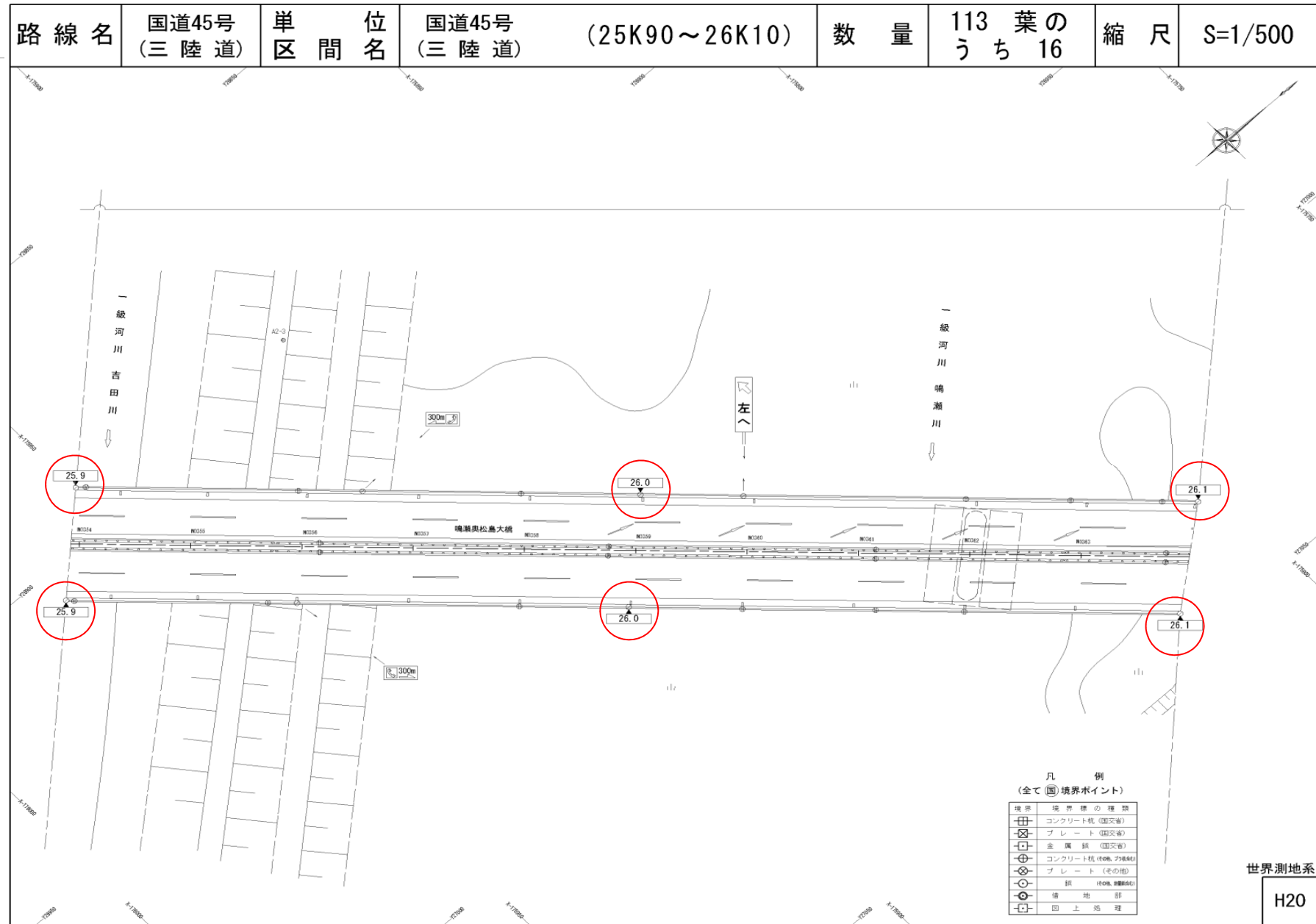


※平面図で歩道設置状況・路肩状況が確認可能であれば標準横断面図の提出は不要(1/500 程度の平面図を想定)

標準横断面

例：距離標入り平面図（距離標設置用工事図又は台帳付図等）

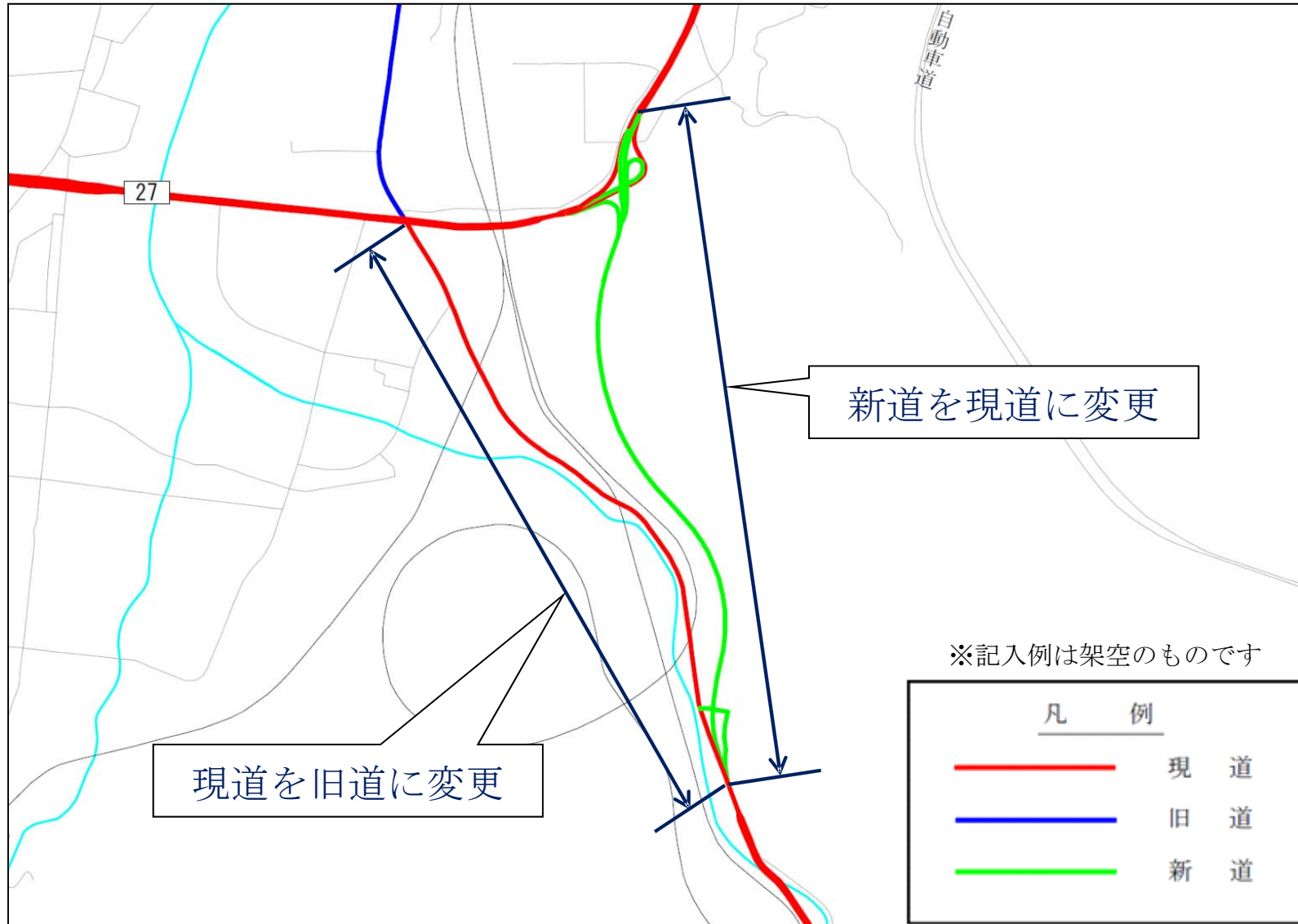
例13



例：現・旧・新道区分図

例14

DRM データベースの現道・旧道・新道を表わした図を配布するので、変更がある場合、図上に変更内容を記載して提出する。



例：道路冠水想定箇所リスト

※各都道府県・政令市から整備局又は国道事務所に資料提出している場合は、提出不要です。

リスト内容：道路冠水想定箇所リスト及び位置図

対象：道路冠水想定箇所の全て

形式：xls

例15

道路冠水想定箇所リスト（事例）

管理番号	道路冠水危険箇所名称	道路種別	路線名称	都道府県名称	住所(市町村)	住所(字丁目)	交差施設名称	備考
1	鈴木立体	一般国道 (指定区間)	〇〇号	〇〇県	〇〇市	〇〇市〇〇	JR 中央本線	
2	佐藤アンダー	主要地方道	主要地方道××号	〇〇県	△△市	△△市××町1丁目	国道〇〇号	歩道
3	斉藤地下道	一般県道	△△号	〇〇県	〇×町	〇×町××	△△通り	
4	日本高速自動車道 ボックスカルバート	市町村道	主要地方道△△号線	〇〇県	〇△町	〇△町△△3番地	日本高速自動車道	
5	JR 貨物線 田中地下道	市町村道		〇〇県	××村	××村大字××字××	JR 貨物線	

例 1 6

■ 道路冠水想定箇所図

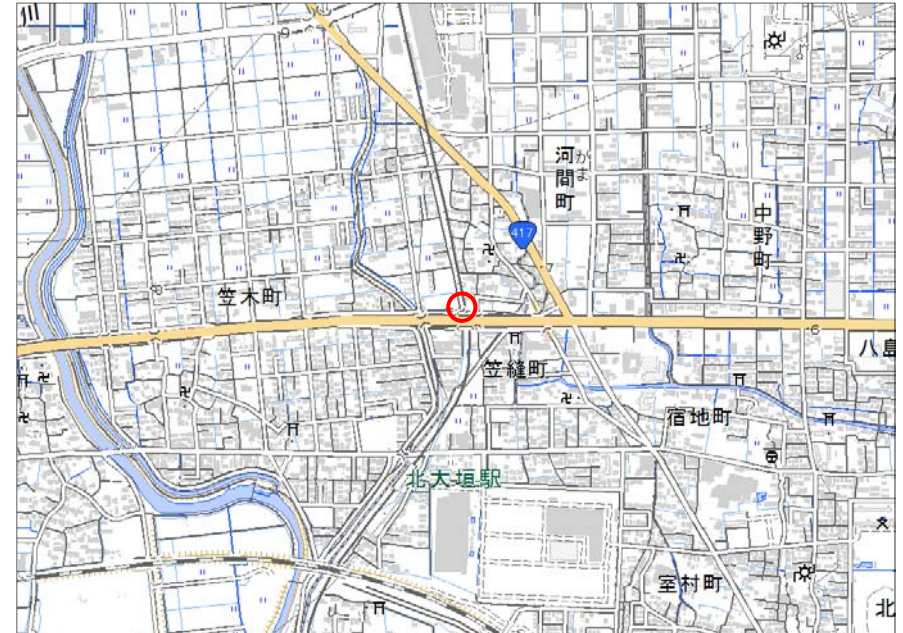
道路冠水想定箇所リストに新規に追加した箇所については、箇所図を添付する。

道路冠水想定箇所				
番号	箇所名(通称名)	種別	路線名	交差施設名
国(〇〇)1	山田アンダー	主要地方道	×△号	私鉄△〇線
住 所				
県名	市町村	丁目	番地	
〇〇県	〇〇市	△△3丁目		
道路管理者		警察署 ※緊急時は110番へ	消防署 ※緊急時は119番へ	
名称 TEL	〇〇国道事務所 111(111)1111	名称 TEL	〇〇警察署 111(222)2222	〇〇消防組合消防本部 111(333)3333
位置図				
現地写真				
起点側		終点側		
備 考				

例 1 7

■ 道路冠水想定箇所位置図

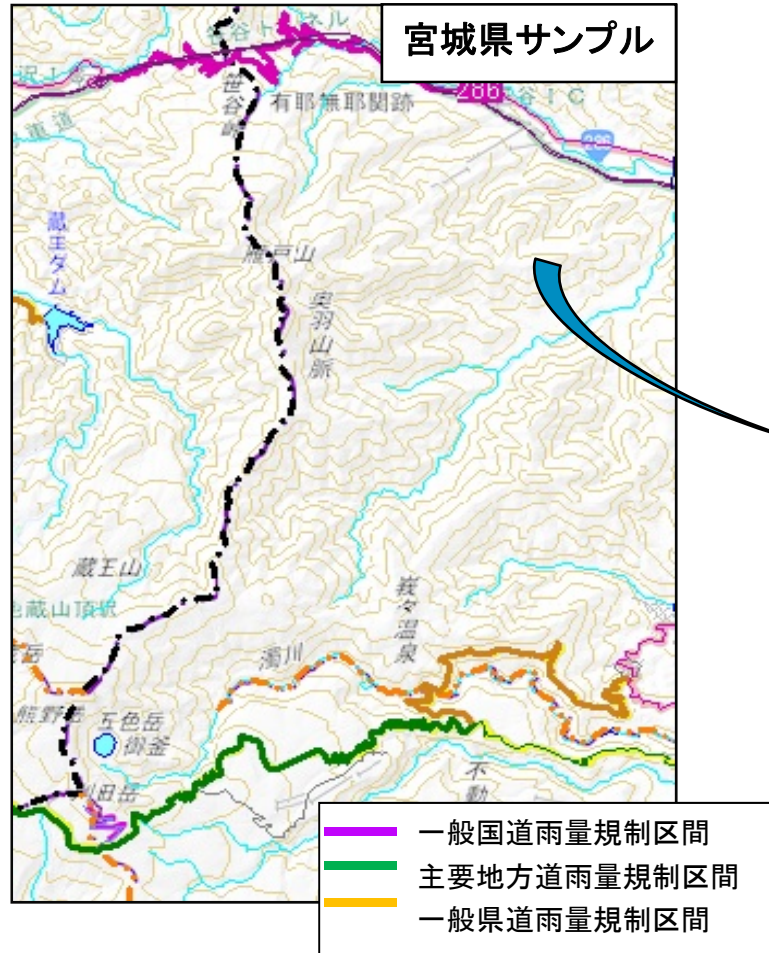
「道路冠水想定箇所図」が無い場合は、地理院地図等に位置を示す。



例18

■異常気象時通行規制区間の例

異常気象時通行規制区間については、必要に応じて、通行規制区間、起点、終点等の確認をさせていただきます場合があります。

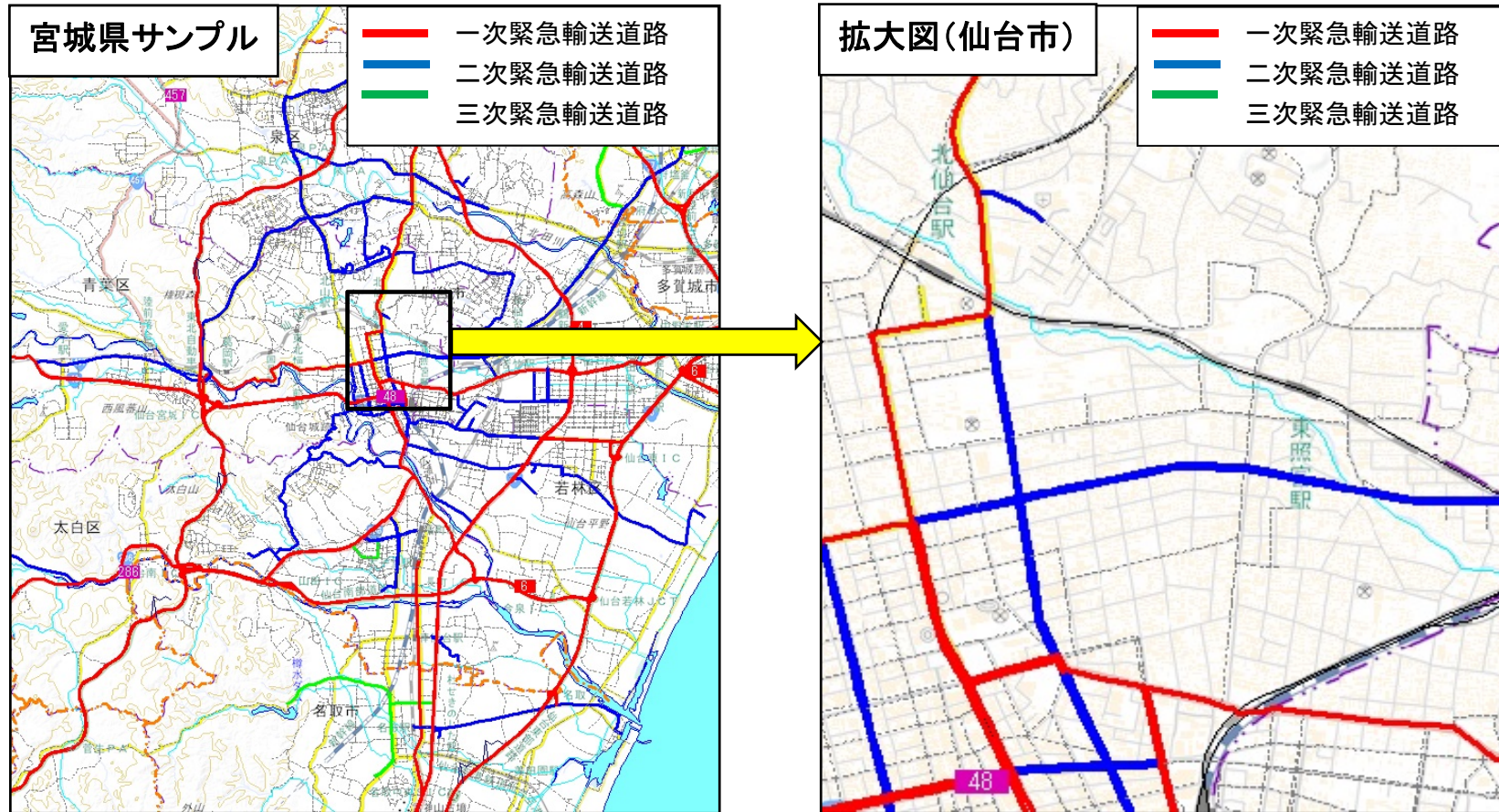


道路防災情報 Web マップ(個別箇所表)

事前通行規制区間 箇所表			
管理番号	箇所名称	気象等観測所	種別
宮城県-01-202	ささや笹谷	笹谷	国道
住所		規制条件(通行止)	
都道府県名	市町村 字丁目		
宮城県	(起点) 柴田郡川崎町 今宿笹谷 (終点) 柴田郡川崎町 今宿笹谷(山形県境)	時間雨量が30mmに達した場合又は累計雨量が100mmに達した場合	
管理者		警察署	消防署
名称	大河原土木事務所	名称	大河原警察署
TEL	0224(53)3917	TEL	0224(53)2211
		名称	大河原消防署
		TEL	0224(52)1136
備考			
位置図			
【起点側】		【終点側】	

■ 緊急輸送道路の例

緊急輸送道路については、必要に応じて、道路ネットワーク（指定区間）、起点、終点等の確認をさせていただく場合があります。



例：路線データ(様式2)

所管全道路の路線データ(平成30年度分)に記載されています。令和元年度内に路線名、起終点地名などの変更が見込まれる箇所を見え消しで修正する。また、追加路線として令和元年度内に道路が開通、移管がある場合は、朱書きで追記する。

例20

※高速道路の路線番号はナンバリング番号を記載願います

路線データ

* : 道路種別(1:指定区間 2:指定区間外) 空欄:都道府県道・政令市道

路線名の変更
(「見え消し」で旧路線名がわかるようにする)

市町村合併に伴う終点名(住所)の変更
(「見え消し」で旧名称がわかるようにする)

都道府県名 ××県

道路種別	*	路線番号	路線名	都道府県内・起終点位置		備考
				地名	2次メッシュコード	
主要地方道(都道府県道)		000*	□□△△線	〇〇市△□ □□市〇〇	***** *****	**** ****
主要地方道(都道府県道)		00**	〇〇□□線	〇〇市□□ □□市△△	***** *****	**** ****
主要地方道(都道府県道)		00**	〇〇△△線 □□△△線	〇〇郡△△町□□ △△市□□町 〇〇市△△字□□△△	***** ***** *****	**** **** ****
主要地方道(都道府県道)		00**	〇△△□線	□□市△△ □△郡〇□町△	***** *****	**** ****
主要地方道(都道府県道)		00**	□△△〇線	□□市△△ △△市〇〇□□	***** *****	**** ****
主要地方道(都道府県道)		00**	□□△〇線	〇〇市△△ △△市〇□郡□△	***** *****	**** ****
一般都道府県道		00**	〇〇〇〇線	〇〇市大字□□ △△市大字■		

※記入例は架空のもので

(注) ①管理境界を都道府県内起点・終点とする。起終点の修正、ノード番号が空白の起終点、新規路線の起終点については、路線図又は管内図等に位置を記入する。
なお、分かりにくい場合は、縮尺 1/500 など大縮尺の図面に記入する。地名の地番記入は不要。

②フリガナは不要

③* : 2次メッシュコード、ノード番号のチェックは不要

追加路線(に道路が開通(部分開通を含む))を朱書きで追記する

4. 参考……標準的な年間スケジュール

道路ネットワーク確定(12月末)

調査内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
都道府県道・ 高速道路・ 国道・ 政令市道	基礎資料作成説明会開催 (要領を説明)			▲										
	基礎資料作成・提出				→ 資料作成・提出									
	現地資料収集(ヒアリング)						→							DRM協会よりご提出 頂いた資料等につ いて現地でヒアリ ング実施
	不明箇所等の照会 (提出更新情報の不明箇所を照会票等により確認)						→ 回答作成・提出							
	入力箇所の確認 (当年度に入力済したデータの確認)							→ 更新データ確認						当年度に資料を提供 した箇所の確認
市町村道 等	資料収集 市町村等へ様式1(更新データ一覧表)を送付し、 資料提出を依頼					→ 資料依頼・提出								
道路管理関係(道路センサスデータ、距離標DB)、 およびVICS世代管理テーブルDB等更新											→			
供用状況調査 (供用状況をホームページや報道発表、問い合わせで随時確認)		-----							(随時)	-----				→ 随時調査

*年度内に道路ネットワークデータと道路交通センサスデータを距離標データを紐付けて更新するためには、
年内に道路ネットワークを確定させる必要があります。